

Jポップで考える哲学 《講談社》 戸谷 洋志/著



【B104/シ】 ティーンズのみんなは「哲学」って聞くとどんなことを思い浮かべますか？ソクラテスとかアリストテレスとか勉強していると覚えることがいっぱいだし、言うことは難しいし、中には苦手意識を持っている人もいるかもしれないね。(咲花(さきはな)も中高生時代(なんなら大学生時代も)、理解不可能過ぎて「あああ!!!」ってなった記憶があります。思い出しただけでなんだかムズムズしてきた…(語彙力))

では、この難しい哲学を、Jポップの歌詞に置き換えて考えてみたらどうでしょう？定番のラブソングから、映画やドラマの主題歌まで、幅広いジャンルの歌詞が紹介されています。歌詞に隠された小さなカラクリに、「意外と深イイじゃんJポップ！」って見かたも変わってくるはず♪

そして、一通り読み終わったら、今度は自分の推しの歌で考えてみるのもアリ！早速咲花も挑戦してみよっかな！…ほら、なんだか「哲学」が身近に感じてこない？よし、その調子で社会・公民のテストもがんばろう！（強引）

読書嫌いのための図書室案内 《早川書房》青谷真未/著



図書缶を手にとってくれているみんなは読書は好きかな？タイトルにもあるようにこの本の主人公は「読書が嫌い」な高校生・荒坂君です。楽そうって思って図書委員になったら「本が嫌いな人にも読んでもらえる図書新聞を作ってほしい」と図書担当の先生に依頼され（NOと言わせてもらえなかった）仕方なく本好きのクラスメイト・藤生さんとつくることになります。

図書新聞に載せる感想文を書いてもらおうと三人に依頼しますがそれぞれから無理難題を押し付けられ…。

本をめぐる事件を解決していくのですが、想像以上にハラハラな推理小説です。(咲花2号は恋愛小説かな？と思い手に取ったのでいい意味で裏切られた…)

作中で感想文のことを「自分の心を晒す行為に近い」って例えがあるんだけどその通りだな♫とこの本の感想を書きながら思っています。(2号の心はここで晒された) 【B913.6/アオ】2号がこの本を読んで感じたことと違う感想かもしれないけど、気になるので良かったらこの本を読んだ感想を教えてね！



星の辞典

《雷鳥社》柳谷 紀一郎/著



【2F ポピ N443/ホ】

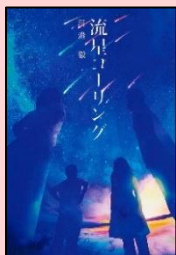
ティーンズのみなさんは星座の名前をいくつか言えますか？有名なものと占いにも使う十二星座やオリオン座、南十字座などでしょうか。この本では、正式に認定されている全88の星座を中心に、夜空に関する豆知識がイラストや、綺麗な天体写真と共に紹介されています。LBが一番好きなのは、「月」の章。月にまつわる言葉はたくさんあって、天文学だけでなく日本語の奥深さも楽しめました。初めての人は、専門用語の説明がある「宙」の章から先に読むのもおすすめ。きっと、他の章で書かれていることへの理解がより深まりますよ。最初から読んでも、写真集のように楽しめます。

ちなみにLBは蟹座なのですが、目立つ星がないため紹介される時にはほぼ必ず「暗い」とか「地味」とか書かれます。もちろんこの本でも…。仕方ないけどなんか悔しい。





流星コーリング
 ≪KADOKAWA≫河邊 徹/著



広島廿日市中央高校に通うりょうは、所属する天文部の仲間たちと、何気ない高校生活を送っていました。でも、りょうには進路のことで仲間には言えない秘密が…。

ある日、広島で人口流星が打ち上げられることになり、天文部の仲間たち

【F913.6/カワ】と特別な場所から見ることになります。彼女の詩織が風邪をひいて参加できなかったこと以外は満足だったりようですが、次の日の朝、りょうが目覚めると、昨日と同じニュース番組、昨日と同じ友達とのやり取り、昨日と同じ風景。…時空が歪んじゃった?! この世界はいったい何?! …と戸惑うりょうですが、実はそれには秘密があって。

受験や友達関係、恋愛などが絡み合う繊細なティーンズの心が表現されている一冊です。

落花は、個人的に、りょうたち天文部の恒例行事である、学校に泊まって天文部員たちと屋上から星を見る合宿が青春だな〜羨ましいな〜と思いました。でも、実際に屋上に入っていい学校ってどれくらいあるんだろう…。

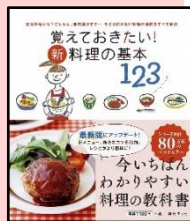
覚えておきたい! 新・料理の基本 123
 ≪扶桑社≫

さて、問題です。砂糖と醤油、味を調えるときに先に入れるのはどちらでしょう? ……答えは本の中で。

料理をしてみようと思ったとき、意外と知らないことってあるよね? 魚の処理の仕方、野菜の選び方、大さじや小さじの事…。覚えておきたいことだけど忘れちゃったなあってことも。そんな悩みを全て解決してくれちゃう一冊です!

この本のすごいところは、掲載されている定番料理のレシピが、“令和版”にアップデートされていること! 手順が写真付きで紹介されているからはじめてでもわかりやすいよね!

2号的に一番ありがたい…と思ったのが野菜の選び方。スーパーに行って、「どれが一番おいしいんだろう…」ってわかんない時、あるよね? そんな悩みもしっかり解決してくれます! これを見ておけば野菜選びも失敗なし!



【B913.6/アオ】

こんなに初心者優しい本あったらどうか。っていうほど丁寧な説明なので、「よし、料理してみるぞ!!」というみんなにもってこいだよ!



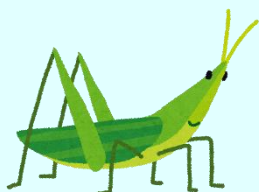
バッタを倒しにアフリカへ
 ≪光文社新書≫前野ウルト浩太郎/著

バッタの大発生という問題を解決するため、そしてバッタに食べられたいという少年時代からの夢を叶えるため、アフリカはモーリタニアへ渡った著者がいろんな障害をたくましく乗り越えていく日々が描かれています。

日本に住んでいるとバッタがたくさんいるから何なの?と思うかもしれませんが、バッタが大発生すると稲などを食べつくしてしまい、深刻な食糧問題につながるので、世界規模でみればすごい問題なのです。

大人買いした呪術〇戦をコタツでゴロゴロしながら読んでいたら、おまけページで前野さんが書いた別の本が紹介されているのを見て、ティーンズのみならずにも紹介しよう! と思ってこの本を選びました。

【2Fポピ 1486.4/ハ】



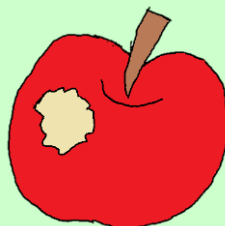
おとぎカンパニー
 ≪光文社≫田丸 雅智/著

会社の資料室で、こちらからの質問に答えてくれる不思議な鏡を偶然見つけた新人OLの「私」。鏡に一番仕事ができるのは自分だと答えてもらうことで自信をつけていたけれど、同期の白石が少しずつ周りに能力を認められてきた。それが許せない私は…。(「同期で一番」より)

誰もが知っている昔ばなしを題材にした、少し不思議な世界観の14の物語が収録されたショートストーリー集です。話のジャンルも、感動モノもあれば、ゾッと怖い話もあり。と様々で、お気に入りの話がきっと見つかるはず。ちなみにLBのお気に入り冒頭であらすじを書いた「同期で一番」の他に、「眠らせ姫」「ハーメルン科」

です。この本で題材になっているのは全て外国の昔話ですが、この本のシリーズには、「日本昔ばなし編」と「妖怪編」の2冊が出版されています。全て図書館で所蔵しているのでそちらもぜひ。

【2Fポピ F913.6/タマ】





10代にしておきたい17のこと

《大和書房》 本田 健/著

10代にしておきたい
17のこと

本田 健

今後の人生を思うがままにデザインできる、可能性と希望に満ちた10代…う～ん、夢がありますね!

今みんなの目の前には、本当にたくさんの人生の選択肢が並んでいて、壁にぶつかることも多いんじゃないかなと思います。たくさんの選択肢がある中で、どれを選ぶかはみんな次第!

【B159.7/シ】

一人ひとり違う生き方があって、正解なんてないと思いますが、みんなは今後の長い人生をどう生きてみたいですか?

この本は、そんな悩みを持つあなたにぜひ読んでほしい一冊です!内容はそれぞれ項目ごとで分かれていますので、とても読みやすいですよ!10代だけじゃなく、ほかの世代でも気づきや学びがあり、生きていくうえで大切なことも書かれています。

「自分はどんなふうに住きたいんだろう」と、みんなが改めて考えるきっかけになりますように☆

妖しいクラスメイト～だれにも言えない二人の秘密～

《KADOKAWA》 無月 兄/著

みんなには誰にも言えない秘密はありますか?

この本の主人公、高校1年の五木麻里は誰にも言えない秘密を持っています。それは「妖が見える」ということ。

この時点で「むむむ、怖いのは苦手だぞ…」という皆さん。2号も幽霊とか妖怪とかすごく苦手なんですけど、読めたので大丈夫です(笑)

妖怪が見えることを隠しながら生活する麻里ですが、クラスメイトの朝霧くんに妖怪に襲われているところを助けられます。その朝霧くんも実は秘密を持っています。

誰でも打ち明けるのが怖い秘密、あると思います。でもそれに立ち向かう麻里はカッコよかった…!バトルシーンも迫力満載でドキドキハラハラしながら読めること間違いなし!

この本、もう一つオススメポイントが!朝読用に書かれたものなので、一話一話が短く、ちょっとずつでも読みやすくなっています!ぜひ気軽に手を取ってみては **【913/ム】**いかがですか?

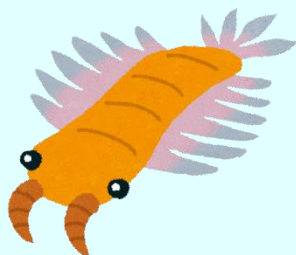


ハルキゲニたんの古生物学入門古生代編

《築地書館》 川崎悟司 著

バージェス動物群ってみなさん知ってますか?えびのような、イカのような何とも言えない姿をしているアノマロカリス、背中にトゲトゲがたくさんあるハルキゲニアなどなど…。大昔の生き物って不思議な姿をしています、その中でもバージェス動物群の生き物の姿はインパクトがあります。

さて、皆さんもうお気づきだと思いますが、この本のタイトルにあるハルキゲニたんとはハルキゲニアがモチーフとなったキャラで、わかりにくい古生代を軽いノリで説明していってくれます。この本を読めば、どの生き物が古生代だったっけ、とテストで迷うことがなくなるはずですよ!ぜひどうぞ!



【1Fレファ 457/ハ】



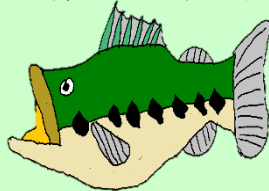
外来魚のレシピ

《地人書館》 平坂 寛/著

ブラックバスにブルーギル、アリゲーターガー…。これらは元々日本にはいなかったのに、海外から持ち込まれて野生化してしまった外来魚たちです。悪者にされがちですが、実は原産地では普通に食べられていたり、そもそも日本には食用にするために連れて来られたものも多いんだとか。

そんな外来魚たちを著者が自分で捕獲、調理し食べるまでの体験を一冊にまとめたのがこの本です。外来生物についての本は生態系への問題提起など重くなりがちなものですが、この本ではそういった部分の描写は最小限で、著者の興味はあくまでも外来魚の味のみ!なので、読み物として気軽に楽しめます。

調理時の注意点やオススメの食べ方、美味しいかまずいかもしっかり書かれているので、釣りが趣味の人は参考にしてみてもいいと思います(真似しようという人はまずいないと思うけど…)



【1Fレファ 664.6/カ】



猫泥棒と木曜日のキッチン 《新潮社》 橋本 紡／著



母子家庭で育つ17歳のみずきと、腹違いの5歳の弟、コウちゃん。ある日突然、母親が帰ってこなくなりました。幼い弟と2人で生活することになった女子高生のみずき。みずきは道路で死んでいる猫の墓を庭に作りはじめ……。ここから話が始まりますが、序盤から結構壮絶です(汗)

【B913.6/ハシ】

17歳とは思えないくらい飄々としているみずきですが、ある日、飼い主に捨てられた子猫が死んでいく様子を目の当たりにして心の中の何かが燃えます。そしてそんな飼い主から「猫泥棒」を計画しますが……!?

猫泥棒を通じて、みずきの心にだんだんと変化が出てくるのが見どころです!

可愛らしいタイトルと表紙ですが、内容としてはかなりヘビーだったので、そのギャップにびっくりしました。が、登場人物一人ひとりが魅力的で、常に先が気になる展開なのでスラスラ読めます!ぜひ手にとってみてください!

めんどくさがりなきみのための文章教室 《飛鳥新社》 はやみね かおる／著

突然ですが、読書感想文を書くのは好きですか? 夏休みにいろんな作文の宿題が出たり、授業でも作文を書く機会って結構あるよね。本を読むのは好きだけど、自分の思ったこと、考えたことを文章にするのって難しいって感じてる子も多いかな? 実際、2号も読書感想文を書くのがすごく苦手でした…。

そんな2号を含む文章を書こうとすると「うーん(°_°)」って頭が沸騰しちゃいそうになるみんなにぜひ読んで欲しいのがこの本です。

「でも、こういう本って難しいよね? 読むのに一苦労だからなぁ…」と思ったみなさん。そんな心配はいりませんよ。この本は何とストーリー仕立てなので小説を読んでいるうちにあら不思議! 文章の書き方のコツや文章力がアップするトレーニング方法が分かるのです!!

ちなみに第三章は「誰でも必ず小説が1冊書ける方法」なので、物語を書いてみたいなって人にももってこい! 来年の夏休みの前に読むことをおすすめします! 2号はちょっと小説を書いてくるね!!



俺達の日常にはバッセンが足りない 《双葉社》 三羽 省吾著

主人公シンジの実家の土建屋に居候同然で転がり込んできたエージが、あることをきっかけに「俺達の日常にはバッセンが足りない」とつぶやき、バッセン(バッピングセンター)のオープンを目指して物語が動き出します。シンジの思い描くバッセンとは果たしてどんなものなのでしょう?

僕はバッセンが好きで今もよく行きます。高3のとき、補習をサボって、友達とバッセン行って、ラーメン食べて、しれ〜っと戻ってきたら先生にクソ叱られたのはよき思い出です。岡崎にもちょっと昔はバッセンがいくつかあったんだけどねえ。いまは1か所しかないようです(ホントに足りないじゃん!)。昔よく行っていたところが無くなるのはさみしいものです。みんなにもそういった場所はあるかな?

【F913.6/ミツ】



がっかりなファンタジーせいぶつ事典 《新紀元社》 緒方 裕梨／絵, 池上 良太／監修, 池上 正太／監修

10月といえばハロウィン。ハロウィンには付き物のカボチャの飾りは「ジャック・オ・ランタン」といって、生前の行いのせいで天国にも地獄にも行けないジャックという男がカブのランタンを持ってこの世をさまよって歩くという伝説に由来しています。え? カブ? そう、本来はカブで作られていたものがいつしかカボチャに変わってしまったんです。正直カボチャの方が見た目も派手になりますね。

こんな感じにゲームや漫画でおなじみの伝説の生き物たちの残念な一面が紹介されていく本です。今までのイメージが壊れてしまうかもしれませんが、残念さを知る楽しみがクセになる一冊です。

ちなみに、カブで作られたジャック・オ・ランタンを検索したら、すごく不気味なものが出て来ました。興味のある人だけ調べてください。本当にカボチャに変わってて良かった。

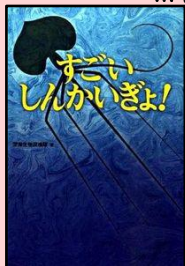
【2F YA 388/カ】





すごいしんかいぎょ!

《新紀元社》 深海生物探検隊/著



みなさんは「深海魚」と聞いて何を思い浮かべますか? 「怖い」「不気味」「よく分からない」「謎に包まれている」…など、あまり良いイメージを持っていない人が多いかもしれませんね。今回は、そんな深海魚のことがよく分かる一冊を紹介します!

【481.7/ス】昔、深海魚に特化した水族館に行ったことがあります。その水族館には「生きた化石」と呼ばれるシーラカンスの剥製が置いてあり、とてもワクワクしたことを覚えています。ずっと昔に絶滅したと思われていた生き物が、もしかしたらまだどこかにいるかもしれない…考えるだけでなんだかワクワクしますよね。

この本には、深海魚が一体なぜこんな形をしているのか? どういう習性があるのか? ということをイラスト付きで分かりやすく説明してくれています。

宇宙人のような見た目をしている深海魚、インテリア照明のような形の深海魚…ずっと見ているとだんだん愛着が湧いてくるような? たくさんの深海魚の中から、お気に入りの深海魚を見つけてみてください!

赤くない系で結ばれている

《KADOKAWA》 篠田かつら/著

ついにこの季節がやってきました。そうです、クリスマスです。2号がティーンズだった時、中二病を極めていたので「漆黒のメリークリスマス」とか言ってました(つまりクリスマスとは無縁の存在でした)。そんな色めきだった季節ですが、みなさんいかがお過ごしですか。

さて、恋には2パターン存在するのを知っていますか? 一つは運命の恋、もう一つは運命「じゃない」恋。運命の相手とは赤い系で繋がってるなんて言うけど、じゃあそうじゃない人とは何色の系で繋がっているんだろう…?

この本は短編集なのですが、登場する恋の結末はお察しの通りです。うーん切ない! だけど、なんとなく爽やかな気持ちにもなれる一冊です。赤色じゃなくても出会った人との間には系があるんだろうなぁ…と。だからこそ、大切にしていきたいよね!

いつもとは少し違う恋愛小説。
みんなにぜひ楽しんでもらいたいです。



【B913.6/イカ】



子どものうちに知っておきたい! おしゃれ障害 《少年写真新聞社》 岡村 理栄子/監著

最近私、黄色いレジ袋でおなじみの某ド○キのコスメコーナーに立ち寄ったのですが、イマドキのコスメってホントスゴいですね。二重にするのりとか、カラコンとか…。使用後の写真をみると、変身具合がまるで別人じゃないですか。もうね、何も信用できなくなりました。メイクを超えてこれはもはやDIYです。

さて…日々進化しているオシャレ。一体どういことが起きてそうになっているか、考えたことはありますか?

かわいいかどうかではなく、大丈夫かどうかで判断するのも大事なことだと思います。自分の体にどんなリスクがあるのかとってわかりやすく書いてあるので、試してみる前にちょっとこの本を読んでみてください。

でも、若いうちにしかできないオシャレもあると思うから、よく考えて挑戦してみてください。

【2YA H494.8/コ】



桜風堂ものがたり 《PHP 研究所》村山 早紀/著

仕事以外で人と関わることは避けているものの、隠れた名作を見つけ出しヒットさせる才能を持つ書店員の月原一^{いっせい}整は、絶対に推したいと思う新刊本と出会う。必ず自分の手で売り出してみせると意気込むが、店で起きた万引き事件が切っ掛けで勤めていた書店を辞めることに。これからのことを考えた月原は、この機会にネット上で交流があった書店「桜風堂」を訪ねてみることにした。

本を心から愛する書店員たちの熱い思いが、やがて小さな奇跡を起こしていく心温まる一冊です。ストーリーだけでなく、書店員の仕事内容や書店と出版業界の現状もリアルに描かれていて、本好き書店好きな人には特に読んでほしいです。また、この本は是非あとがきまで読んで下さい。物語はフィクションですが、登場人物たちと同じ位の情熱を持って働いている書店員たちが大勢いることが感じられるはず。



【2F ポピ F913.6/ムラ】